



国際ロータリー テーマ

ロータリーに輝きを
LIGHT UP ROTARY

国際ロータリー 会長 ゲイリー C.K. ホアン

八尾ロータリークラブ テーマ

ロータリーの心を実践し
人間力を高めよう

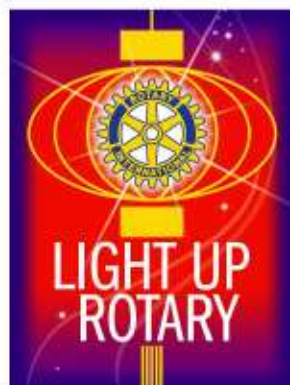
会長 中川 将

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

ひとりひとりの輝きで、
あなたの地域を輝かそう

LIGHT UP YAO

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 泉 博朗



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



八尾RCバナーの主旨

「我々のクラブは、若いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

第2616回 例会 プログラム

- ▼開 会「点 鐘」
- ▼ロータリーソング
「それでこそロータリー」
- ▼出席報告
- ▼ロータリーの友紹介
クラブ研修委員会・
宇野 泰正 副委員長
- ▼その他の報告
- ▼会務報告
「会長の時間」「幹事の時間」
- ▼SAA報告 ニコニコ箱
- ▼卓 話
「日本の課題」三宅 博会員
- ▼閉 会「点 鐘」

▼卓話予告

1/28 「私の職業について」
澁谷登志和・水野雅由・

野村俊隆会員

2/4 「東富士演習場において
実弾火力演習に参加して」

山本勝彦会員

2/18 「私の職業について」

池尻 誠・大坪 勤・

宮川 清会員

会長の時間

先週の初例会はお疲れ様で
した。今週の例会にて初例会の
方には改めて、明けましておめ
でとうございます。本年もよろし
くお願い致します。

本日の会長の時間は年初で
すので、やはり将来の事につい
て私の個人的な考えを勝手な
がら申し上げたく思います。

私達が生活する上での重要な
一つであるエネルギーについて、
私の考えを述べさせていただきます。
日本はご存知の如くエネルギー
については95%以上輸入に頼
っています、それでは将来は未
来永劫に輸入で賄って良いの
かと考えられます。又原発
も止まった今代わりをLNG 液化
天然ガスが代替エネルギーとし
て大量に輸入され其の為に日
本は貿易赤字に転落してしま
いました。(経済収支でかろうじて
黒字にはなっていますが)

幸いにも昨年末から今年にか
けて原油の価格が暴落して原
油の価格が高値の半値、LNGも
半値近くに暴落して日本には神

風が吹いたようなものです。然しながらこれが永遠に続くとは考えられませんし、又何時上がるか誰も予想できないでしょう。只評論家は当分このような状態が続くと言っていますが、私も同意見です。米国のシェールオイルの開発が止まるまで、産油国はこの価格競争を戦い続けるでしょうし、たとえ勝ったとしても以前のような1バレル \$ 120みたいな高値にはならないと思いますが。

それでは日本は今後エネルギー問題に何をもって取り組むのかと考えた時、私は次の提案をします。

原発は再稼働しても以前の30%には戻りません。そうすると自然エネルギーに頼る方法しかありません。それでは今行われている太陽光ですが、これには私は反対です。KW35円での買い取りが余りにも高く、国民や産業用には負担がかかって最終的には国民の利益にはつながらないと思います。

又太陽光は冬場や雪の時、雨の時はエネルギーは生みません。これを推奨する事に問題があると考えます。

それでは自然エネルギーでは何が良いかと考えた時、私個人としては風力がベターだと思います。素人考えなのではばかるのですが理由は今は風力発電を山の上とか、海岸とかに設置していますが、私は日本は島国です。無人島が沢山あり3000

以上が無人島だそうです。近海の無人島に風力発電を設置すれば良いと思います。騒音問題もなく送電は海底ケーブルで送れば漁業者とのトラブルもないでしょう、一年中風が吹いている島を探して設置すべきだと思います。何故か島には風力発電を設置していないように思います。が不思議です。

デンマークは20%が風力発電で国の電力を賄っているそうです。私は今後は政府が率先して無人島に風力発電を設置することを提案いたします。

幹 事 報 告

▼17日、地区のクラブ広報委員長会議が開かれ、野村・吉田会員に出席いただきます。

▼第1組よりIMの案内が届いております。お問い合わせは事務局まで。

▼高砂様よりお歳暮にお菓子をいただいております。

喜 寿 の お 祝 い

▼松本 新太郎 会員

おかげさまで喜寿を迎えることができました。平凡な毎日を過ごすうちに、77歳になりました。これからは毎日を大切に生きたいと思っております。

卓 話

「ビジネスとしての映画館」

▼高瀬 進 様

映画の業界誌の記者、執筆の

仕事のほか、映画祭の企画、運営も手掛けております。また出版社のアルクも運営しています。

本日は映画館に絞ってお話しさせていただきます。1968年に新宿の名画座で住み込みで働き始めたのが、私と映画館との出会いでした。この地球座が閉館するまでの6ヶ月働き、その後松竹に契約社員として入社しました。

大船の撮影所では制作に関わり、寅さんの第1作から第5作まで携わるなどしました。1970年、大阪万博のときに日本で初めてのフィルムフェスティバルが開催され、私も参加しました。イングリッド・バーグマンやマレーネ・ディートリッヒなど、思い出深い出会いがいくつもありました。特にグローブ・ユニティーのバンドリーダー、アレクサンダー・フォン・シュリペンバッハ氏は、後に私の姉と結婚し、私にとっては義理の兄となりました。

また業界誌の記者として興行も担当、映画館に関する本も10冊以上を出版しました。ムービー・パレスをテーマにした本は海外でも出版され、映画館学の研究者としてアメリカで賞も受賞しています。

私がこれほどまでに映画館にこだわるには、2つの理由があります。

一つは映画館、特に名画座が好きなこと。好きな映画館はいっぱいありましたが、残念なこと

に多くの名画座は姿を消しました。

もう一つはフィルムへのこだわりです。フィルムを残したいとの思いから映写機に対する思い入れもあり、映写機を収集しています。現在では、380台集まっています。閉鎖になる映画館から譲ってもらったりしています。

フィルム缶は1缶20kgもあるのですが、そのずっしりと重たい感触を、今でも鮮明に記憶しています。この缶には封がしてあり、その封を切ることから「封切り」という言葉が誕生しました。

私のこれまでの人生は、たくさんの映画や人との出会いのおかげだと思います。高倉健さんとは富山の刑務所をともに慰問したことがあります。その際には、あまり映画の話はせず、人生のことばかりお話ししていました。また天草にある110人しか入れない小さな映画館で「高倉健特集」をするというので、無理を承知で招待したら、奇跡的に訪れてくれたこともありました。

現在の映画館は、シネコンが主流になっています。設備には1台3000万円ほどかかりますので、このビジネスを始めるには1億円は必要でしょう。これが現状で、映画を愛するものにはつらい状況です。

ただ、まだフィルムにこだわっている国も多くあります。フランスなどでは、映画館の入り口に映写技師の名前が表示されています。誇りある職業として認知

されているのです。かつて銭湯と映画館と神社には、同じ三角の印がありました。昔はいずれも、人が集まる場所として認識されていたのです。

その、交流の場としての映画館が今、なくなりつつあります。私が上京した昭和39年あたりが日本での映画の最盛期でした。当時は一人当たり、年間で12回映画を観たことになる数字が残されています。今はせいぜい、年に2回ぐらいでしょうか。この中にも、去年一年間で一度も映画館に行かなかった方もきつとおられることでしょう。

今は映画館に行くことが少なくなっています。その原因には、映画会社や映画館などの問題もあります。子ども向け作品が多いことも一因です。もっと大人の鑑賞に堪える映画をつくるべきだと思います。

幸い日本には、数多くの財産があります。黒澤明監督の作品などを改めて上映するのも一案でしょう。映画には、人を勇気づける力があると思います。

さて、映画館の未来についてですが、やはり人にたくさん来てもらわないといけません。そのためには、あくまでライブスペースであるべきです。ライブができる空間が必要です。できれば屋根が開くところが望ましいと思います。夜になれば星を見ながら映画鑑賞できるような映画館はいかがでしょうか。

また日本映画のフィルムがたくさん残されています。これを生かしたいのです。こうした作品を改めて観てもらうことで、古い日本のいいところをもっと知ってもらいたいと願っています。

かつて私は寅さんを外国人に見せたい、と言ったことがあります。当初は「外人にこの映画が理解できるか？」と半信半疑の声もありましたが、ふたを開けてみると「素晴らしい。自国でもぜひ公開したい」と大評判でした。

また建物の中にレストランやコンビニなどを設け、人が集まるスペースにする工夫も重要です。そのほか、サッカーの試合などでよくあるパブリック・ビューイングなども考えられるでしょう。

「スーパー銭湯」というのがありますが「スーパー映画館」もあっていいと思います。社交場としての映画館が復権することを願います。今のシネコンには、大人がいません。若者や子どもたちばかりです。もっと大人が集える場所がほしいと思います。

イギリスでも1980年代に映画館の入場者数が大きく落ち込んだことがあります。それでもその後の努力と工夫で、今では映画人口が復活しています。日本も必ず、戻せるはずだと信じています。ぜひ皆さんも、映画館に足を運んでください。

今後の予定

月	火	水	木	金	土	日
1			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

ロータリー
理解推進月間

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

世界理解月間

車椅子バスケット
親善交流会

上六まで来て頂きありがとうございました。本日の卓話の高瀬進様本日は宜しくお願ひ致します。

▼濱岡副会長 高瀬様、本日はよろしくお願ひ致します。写真有難う。

▼吉本幹事 高瀬進様卓話よろしくお願ひいたします。ご夫人誕生日。写真有難う。

▼佐野会員 本年もよろしくお願ひ致します。写真有難う。ご夫人誕生日。

▼松本会員 喜寿のお祝い。写真有難う。

▼正田会員 妻誕生日祝い戴きました。中川將會長様、あと半年頑張ってください。

▼居相・村本・井川・今西・稲田・

山田・吉田・宮川・小谷会員 写真有難う。

▼池尻会員 誕生内祝い。

▼原田会員 今年もよろしく。写真有難う。

▼山本(昌)会員 中川会長、バックナインに入り頑張ってください！写真有難う。

▼山本(勝)会員 体調回復しました。

▼中川(廣)会員 誕生内祝い。写真有難う。

▼菅野・松村会員 ご夫人誕生日。

▼笠井会員 中川(廣)・中西会員ご迷惑をおかけしました。写真有難う。遅刻お詫び。

▼柏木会員 在籍内祝い。写

真有難う。

▼野田会員 今年もよろしくお願ひ致します。来る2月28日開催の車椅子バスケットボール親善交流会について、会員皆様の絶大な御支援よろしくお願ひします。初例会欠席おわび。

▼澁谷会員 よいことがありました。

▼長竹会員 謹賀新年。

▼野村会員 例会欠席お詫び。

▼中西(広)会員 今年も宜しくお願ひします。写真有難う。

▼飯田会員 写真有難う。早退。

本日の合計 177,000円

累計 2,422,000円

今期の目標 3,500,000円

出席報告



八尾RC Facebookページ www.facebook.com/yaorotary

月日	会員数	出席	(内出席規定適用免除者)	出席率	メイクアップ	確定出席率
12/24	58	30	3	66.67%	2	71.11%
1/7	57	37	6	80.43%		
1/14	57	36	7	76.60%		